

日中同形二字漢語動詞「V 入」の自他性と構文について

羅 非凡

DOI: 10.18999/stul.37.77

1. はじめに

本研究は日本語の二字漢語動詞「V 入する」と同形中国語の“V 入”の自他性と構文について論じるものである。ここでは「移入」を一例として取り上げる。日本語の「移入する」について『新明解国語辞典』(第八版)や『三省堂国語辞典』(第八版)では他動詞と記述されているが、「Web データに基づくサ変動詞用例データベース(開発版)」を検索すると、「移入する」は全 2,061 件のうち、例(1)のように「ヲ格」を取る例は 552 件出現し、例(2)のように「ガ格」を取る例は 40 件出現した。

- (1) その臓器に分化する能力を持った細胞を移入する。(他)
- (2) 白血球などの血液および骨髓液由来細胞が血行性に末梢組織へ移入する。(自)

例(1)と例(2)の「移入する」は「主体あるいは対象が空間の内部に移動する」という意味を表す。前者は「空間内ニ 対象ヲ V 入する」という構文を取り、移入物である「細胞」が「ヲ格」で表されているため他動詞と判断される。後者は「主体ガ 空間内へ V 入する」という構文を取り、移入物である「細胞」が「ガ格」で表されているため自動詞と判断される。

一方、中国語の“移入”は他動詞用法しか持っていない。「北京语言大学语料库(BCC)」で“N+移入”と“移入+N”を検索すると、全部で 839 件出現した。全て例(3)のような他動詞となる場合である。

- (3) 将人骨髓基质细胞移入大脑。(《科技文献》)(他)
(骨髓間質細胞を脳に移入する。)

例(3)は「“将”+対象+V 入+空間内」という構文を取っている。“大脳”(脳)の前に介詞(前置詞)の“将”がある。この“将”は日本語の格助詞「を」に相当する意味を表し、後に来る名詞が目的語であることを表す。“移入”の後の“大脳”(脳)は“移入”の着点を表している。そのため、例(3)の“移入”は「対象を空間の内部に移動させる」という他動詞として機能している。

また、日本語の「移入する」と中国語の“移入”を比較すると、日本語の「移入する」は例(1)～(3)の「細胞」の他「遺伝子」「胚」「血清」など体組織を移し入れる場合にも使われるし、例(4)の「米穀類、衣類、日用雑貨」などの課税物を搬入する場合にも使われる。これに対し、中国語の“移入”は例(1)～(3)の場合は使えるが、例(4)の場合は使えないという違いがある。

- (4) 米穀類、衣類、日用雑貨を移入する(…後略)。(松下志朗, 下野敏見編『鹿児島県の湊と薩南諸島』,2002)

({*移入/引进}谷物类, 衣类, 日用品杂货等等)

以上のように、日中同形の「移入」は「空間の内部に移動する」という意味を表す点で共通しているが、日本語の「移入する」は自動詞用法も他動詞用法も見られるのに対し、中国語の“移入”は他動詞用法しか見られない。また、対象となる名詞にも違いがある。

以上のことを踏まえ、本研究では26語の日中同形「V 入(する)」の自他性と構文を考察し、両者の違いについて論じる。

2. 先行研究

2.1 日中両語の「V 入する」に関する研究

日中両語の同形二字漢語動詞「V 入(する)」について考察した先行研究には野村(2002)がある。野村(2002)は「現代漢語データベース」を使い、「出」と「入」を含む二字漢語動詞を約 250 語抽出した。このうち「V 入(する)」は以下の 24 語である。

移入、加入、介入、記入、吸入、購入、混入、収入、侵入、進入、潜入、挿入、

注入、闖入、転入、投入、導入、突入、納入、搬入、編入、輸入、乱入、流入

野村(2002)は上記 24 語の「V 入(する)」の V1 と「入」の関係は修飾関係であり、同形中国語の“V 入”の V1 と“入”の関係は並列関係と述べている。例えば、“加入”は、類義の語基をかさねて構成され、中国語では V・V 型(並列関係)とみられるのに対し、日本語の「加入」は「クワフル+ハイル」のように訓を介して解釈するために、これを修飾関係とみられると説明している。

しかし、日本語の場合に修飾関係であるとする理由が不明確である。また、自他性や共起名詞との対応関係については論じていない。例えば、例(5a)の「加入する」と例(5b)の“加入”は自動詞として使われ、意味的にも対応する。しかし、例(6a)の“加入”は他動詞として使われ、意味的に「加入する」には対応せず、「加え入れる」の意味を表している。

- (5)a. 李大釗、陳独秀らの共産党幹部が早速国民党に加入した。(西尾幹二責任編集『新・地球日本史』,2005) (自)
- b. 李大釗、陈独秀等共产党干部很快加入了国民党。(自)
- (6)a. 中火加熱煎鍋中の牛油，加入洋葱。(微博)(他)
- b. 中火でフライパンの中のバターを加熱し、玉ねぎを{加え入れる/*加入する}。

そこで、本研究では日中同形二字漢語動詞「V 入(する)」の自他性と構文について考察する。

2.2 中国語の「内部移動」を表す動詞に関する研究

中国語の“入”に関する先行研究は管見の限り見あたらないため、類義語の“進”の先行研究を取り上げる。呂叔湘(1980)は中国語の“進”を構文と意味の違いによって以下の二つに分けている。

- ①[動]+進+[名] 人や事物が動作によって外から内に入ることを表す:[名]は一般に動作の対象だが、時に動作の主体であることもある。後者の場合、[動]と“進”の間に“得・不”を挿入できない。(例:买~一批图书(図書を購入する)/调~不少技术人员(多くの技術者を集める)/引~国外的新技术(国外の新しい技術を導入する)/他作风民主, 听

得～不同的意見(彼は民主的で、異なった意見に対しても聞く耳を持っている)/从外
边跑～几个小男孩(外から数人の男の子が駆け込んできた×跑得进))

- ②動+进+名(場所) 人や事物が動作によってどこかに入ることを表す。(例:走～教室
(教室に入る)/又有许多人住～了新楼(また多くの人が新しい建物に入った)/把这几
本书也一块儿放～柜子吧(これらの本も一緒に戸棚に入れておきなさい)/我挤不～
会场(会場が混んで入れない)/这些器材暂时还搬不～仓库(これらの器材はまだし
ばらく倉庫に入れられない))

呂叔湘(1980:185 牛島徳次監訳,菱沼透訳 1992)

中国語の“V 入”の用法は上述の二つとほぼ同じである。ただし、例(7)のように V1 と
“入”の間に“得・不”を挿入することはできない。

- (7)a. 买得{进/*入}一批图书。(図書が購入できる。)
b. 我挤不{进/*入}会场。(会場が混んで入れない。)

また、呂(1980)の分類では「動+进[+名]」人や事物が動作によって外から内に入るこ
とを表す:「名」は一般に動作の対象だが、時に動作の主体であることもある」(p.185)と指摘し
ているが、この名詞が具体的にどのような特徴を持つものであるかは考察していない。例え
ば、例(8)において(8a)のように他動詞の場合は“加进”も“加入”も使えるが、(8b)のように
無意志的自動詞の場合は“加入”は使えるが“加进”は不自然になる。一方、例(9)のように
意志的自動詞の場合は“加进”も“加入”も使える。

- (8)a. 把蔬菜加{进/入}膳食里。(食事に野菜を入れる。)(他)
b. 蔬菜加{?进/入}膳食里。(食事に野菜が入っている。)(自・無意志的)
(9) 加{*进/入}中国共产党。(中国共産党に加入する。)(自・意志的)

そこで、本研究では呂(1980)が述べている“进”の二つの分類を参考にして、中国語の
“V 入”を分類し、その自他性と構文の特徴について日本語の「V 入する」と対照する。

3. コーパス調査と考察対象

本研究ではまず、日本語の「V 入」の考察対象を抽出するために、「Web データに基づくサ変動詞用例データベース(開発版)」を用いる。その検索欄に「入」を入力して「後方一致」を選択して検索し、出現したものの中から「四捨五入」などの二字漢語ではない例を除外した。その結果 26 語の「V 入する」を抽出した。

購入、導入、記入、加入、挿入、注入、投入、輸入、侵入、
算入、突入、流入、参入、編入、混入、進入、介入、吸入、
搬入、納入、移入、乱入、転入、潜入、没入、収入

次に、同形中国語が存在するかどうかを確認するため、「北京语言大学语料库(BCC)」を使い、検索欄に上述 26 語の簡体字をそれぞれ入力して検索した。その結果 26 語全て出現した。

以下、日本語の「V 入する」、中国語の“V 入”の順にそれぞれの自他性と構文の特徴を分析していく。

4. 日本語の「V 入する」の自他性と構文

本節では日本語の「V 入する」の自他性と構文について見る。本研究では、日本語の「V 入する」を自他性によって「主体移動(自動詞)」「対象移動(他動詞)」「主体・対象移動(自他両用動詞)」の三つに分け、それぞれの格構造によって分類した。これを表 1 に示す。

表 1 日本語の「V 入する」の自他性による分類

自他性	格関係	構文	「V 入する」(出現数)
a. 主体移動 (自動詞)	～ガ～ニ	①主体ガ 空間内ニ 移動する	加入(5,993) 侵入(3,811) 突入(2,955) 流入(2,915) 参入(2,902) 進入(2,712) 介入(2,606) 乱入(2,120) 転入(2,075) 潜入(2,064) 没入(1,590) 闖入(13)
b. 対象移動 (他動詞)	～ガ～ヲ ～ニ	②主体ガ 対象ヲ 空間内ニ 移動させる	記入(6,024) 挿入(5,051) 注入(4,145) 投入(4,028) 算入(3,000) 編入(2,800) 納入(2,489) 搬入(2,449)
	～ガ～カラ ～ヲ	③主体ガ 空間カラ 対象ヲ 移動させる	購入(8,635) 導入(6,939) 輸入(3,901) 吸入(2,515) 収入(19)
c. 主体・対象移動 (自他両用動詞)	～ガ～ニ	①主体ガ 空間内ニ 移動する	混入(2,762) 移入(2,207)
	～ガ～ヲ ～ニ	②主体ガ 対象ヲ 空間内ニ 移動させる	

4.1 主体移動

まず、主体移動について見る。この場合、「V 入する」は自動詞用法となる。「主体移動」は「動作主体が空間の内部へ移動する」という意味を表し、「①主体ガ 空間内ニ 移動する」という構文を取っている。これには、例(10)の「加入する」はや例(11)の「侵入する」などがある。

(10)a. 父が組合員だった漁業組合に、高校を卒業した友介が加入する必要に迫られてであった。(立松和平著『月光のさざ波』,1998)(自)

b. 金融機関が預金保険機構に加入している…(後略)。(岩崎博充著『銀行・証券・保険潰れたらどうする』,2002)(自)

- (11)a. 服部半蔵が甲斐に侵入していることは知っている。(岩崎正吾著『遥かな武田騎馬隊』,2001)(自)
- b. 細胞内に細菌やウィルスが侵入するのを防ぐ。(小林英二著『食の乱れで、いま日本の子供が危ない』,2001)(自)

4.2 対象移動

次に、対象移動について見る。この場合、「V 入する」は他動詞用法となる。「対象移動」は「動作主体が対象をある空間の内部へ移動させる」という意味を表す場合と、「動作主体が対象を自分自身のところへ移動させる」という意味を表す場合とがある。前者の場合は「②主体ガ 対象ヲ 空間内ニ 移動させる」という構文を取り、後者の場合は「③主体ガ 空間カラ 対象ヲ 移動させる」という構文を取る。

まず、他動詞用法で「②主体ガ 対象ヲ 空間内ニ 移動させる」という構文を取るものを例(12)(13)に示す。

- (12) 県警本部の総括補佐が、帳簿に数字を記入していた(後略)…。(北海道新聞取材班編『日本警察と裏金』,2005)
- (13) 男は雨合羽のポケットから小型計算器のようなものをとりだし、それを扉のスリットに挿入してしばらく操作していたが、扉はやがて音もなく内側に開いた。(村上春樹著『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』,1985)

例(12)の「記入する」と例(13)の「挿入する」は図1のように「動作主体が対象に働きかけて空間(A)から空間の内部(B)に入れさせる」という意味を表し、「ニ格」と共起しやすい。同じグループに属する「注入、投入、算入、編入、納入、搬入」も同様である。

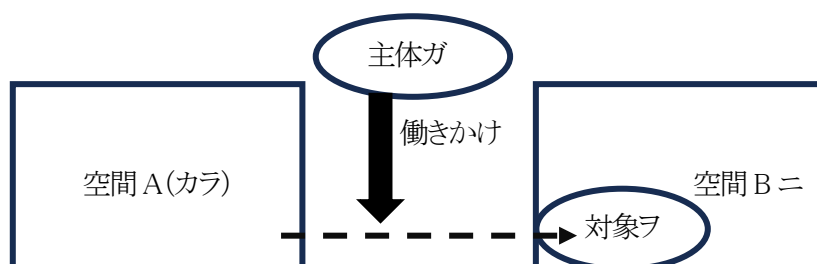


図1 「主体ガ 対象ヲ 空間 B ニ V 入する」のイメージ

次に、他動詞用法で「③主体ガ 空間カラ 対象ヲ 移動させる」という構文を取るものを例(14)～(18)に示す。

- (14) 中国が近年、(…中略…)ロシアから新鋭の戦闘機、潜水艦、駆逐艦などを続々と購入している(…後略)。(古森義久著『「日中友好」のまぼろし』,2002)
- (15) これら農家は、(…中略…)近年においては、産地自らが外国から多数の品種を導入し、適応試験を実施するなどの動きがみられる。(農業白書,1982)
- (16) 我が国は、ガンビアから魚介類等を輸入し(…後略)。(我が国の政府開発援助,1999)
- (17) 患者は高濃度の酸素を鼻からチューブで吸入する。(Web データに基づくサ変動詞用例データベース (開発版))
- (18) 生命保険会社は、ご契約者から払い込まれた保険料を収入し、保険金や給付金・年金を支払い、事業費を支出します。

(<https://www.dai-ichi-life.co.jp/support/glossary/term0099.html>)

例(14)の「購入する」は図 2 のように「動作主体が対象に働きかけて対象が所在する空間 A から動作主体が所在する空間 B に入れさせる」という意味を表す。この場合、動作主体(ガ格)は対象の移動先である空間 B と同一であり、構文上「ニ格」は省略される場合が多い。例(15)の「導入する」、例(16)の「輸入する」、例(17)の「吸入する」、例(18)の「収入する」も同様である。

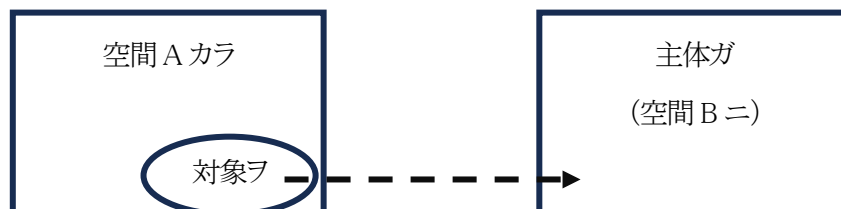


図 2 「主体ガ 空間 A カラ 対象ヲ V 入する」のイメージ

4.3 主体・対象移動

次に、主体・対象移動について見る。この場合、「V 入する」は自動詞用法にも他動詞用法にもなる。この類に属する「混入する」と「移入する」は例(19) (20)のように「主体移動」と「対象移動」の両方が使われるものである。

- (19)a. さて、本事件の最大の問題点である「何故ジフテリア毒素が混入したのか」を明らかにしておこう。(田井中克人著『69 人目の犠牲者』,2003)(自)
- b. 〈その毒物を最も混入しやすい位置にいたのが、妻の登喜子だ〉(森村誠一著『殺人のカルテ』,2001)(他)
- (20)a. 白血球などの血液および骨髓液由来細胞が血行性に末梢組織へ移入する。)(自)=例(2)
- b. その臓器に分化する能力を持った細胞を移入する。)(他)=例(1)

例(19a)の「混入する」は「毒素がある空間の内部へ移動する」という意味を表し、自動詞として使われているのに対し、例(19b)の「混入する」は「妻の登喜子が毒物に働きかけて、毒物のある空間の内部へ移動させる」という意味を表し、他動詞として使われているという違いがある。例(20)の「移入する」も同様である。

5. 中国語の“V 入”の自他性と構文

本節では中国語の“V 入”の自他性と構文について見る。日本語の「V 入する」と同様に自他性によって分けると、「主体移動(自動詞)」「対象移動(他動詞)」「主体・対象移動(自他両用動詞)」の三つに分けられる。これを表 2 に示す。

表 2 中国語の“V 入”の自他性による分類

自他性	構文	“V 入” (出現数)	
a. 主体移動 (自動詞)	① 主体 + V 入 + 空間内	进入 (142,393) 流入 (8,563) 潜入 (2,705) 突入 (1,429) 搬入 (493)	介入 (10,354) 侵入 (4,885) 闯入 (2,679) 没入 (991) 乱入 (284)
b. 対象移動 (他動詞)	② 主体 + V 入 + 対象 ③ 主体 + “把” + 対象 + V 入 + 空間内 ④ 主体 + “把” + 対象 + V 入	投入 (66,310) 输入 (19,046) 导入 (4,420) 移入 (839)	纳入 (23,119) 插入 (9,145) 记入 (931) 算入 (74)
c. 主体・対象移動 (自他両用動詞)	① 主体 + V 入 + 空間内	加入 (41,284)	注入 (17,788)
	② 主体 + V 入 + 対象	转入 (4,993)	混入 (1,631)
	③ 主体 + “把” + 対象 + V 入 + 空間内	编入 (977)	参入 (55)

5.1 主体移動

まず、主体移動について見る。この場合、“V 入”は自動詞用法となる。中国語の場合も「主体移動」は「動作主体が空間の内部へ移動する」という意味を表す。この場合、「① 主体 + V 入 + 空間内」という構文を取る。これには、例(21)の“进入”や例(22)の“介入”などがある。

(21)a. 外面的队员迅速进入屋内。(《文汇报》, 2003) (自)

(外にいた隊員はすぐに家に入った。)

b. 农药污染环境后可通过消化道、呼吸道和皮肤等途径进入人体, 产生各种危害。

(《人民日报》, 1995) (自)

(農薬は環境を汚染した後、消化管、呼吸器、皮膚から人体に入り込み、さまざまな危険をもたらす。)

- (22)a. 士大夫尽管也涉笔戏曲的头创作, (…中略…) 所以极少介入戏曲的场上演出活动。(《文汇报》, 2003) (自)
- (学者艺术家们はオペラの創作にも関わったが、(…中略…) そのためオペラの現場での上演に介入することはほとんどなかった。)
- b. 印刷企业介入书市, 是西湖书市的一大尝试。(《文汇报》, 2001) (自)
- (印刷会社が書籍市場に介入することは西湖書籍市場への大きな試みである。)

5.2 対象移動

次に、対象移動について見る。この場合、“V 入”は他動詞用法となる。中国語の場合も「対象移動」は「動作主体が対象をある空間の内部へ移動させる」という意味を表す場合と、「動作主体が対象を自分自身のところへ移動させる」という意味を表す場合とがある。前者の場合は「②主体+V 入+対象」と「③主体+“把”+対象+V 入+空間内」という構文を取り、後者の場合は「②主体+V 入+対象」と「④主体+“把”+対象+V 入」という構文を取る。

まず、前者の例を例(23) (24)に示す。これは「②主体ガ 対象ヲ 空間内ニ 移動させる」という構文に相当する。

- (23)a. 人际关系非常重要, (在人际关系中)投入时间(…後略)。(《百家讲坛-探究我们的时间分配》, 2003, 王琪延)
- b. 人际关系非常重要, 把时间投入人际关系中。
- (人間関係はとても重要で、そこに時間をかける。)
- (24)a. 在教学大纲中纳入了健康教育课的内容。(《科技文献》, 2017)
- b. 把健康教育课的内容纳入了教学大纲中。
- (シラバスに健康教育の授業内容を入れた。)

例(23)は図3のように「動作主体が時間を人間関係という抽象的な空間へ移動させる」という意味を表している。このような場合、(23a)のような「在-空間内+SVO」構文にもなるし、(23b)のような「S 把 OV+空間内」という構文にもなる¹。例(24)の“纳入”も同様である。

¹ 本稿では二つの他動詞構文の意味的な違いについては考察の対象外とする。

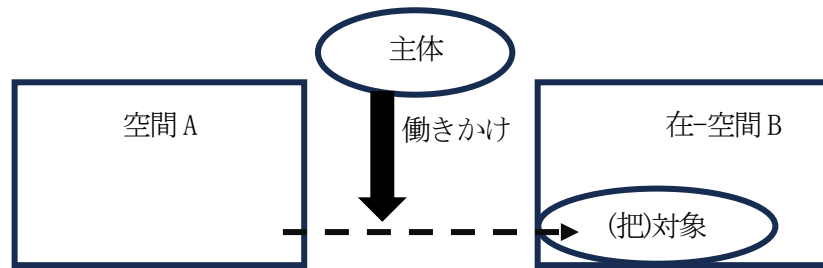


図 3 「在-空間内+SVO」および「S 把 OV+空間内」のイメージ

次に、日本語の「③主体が 空間カラ 対象ヲ 移動させる」という構文に相当する例を見る。これを例(25)～(27)に示す。

- (25) a. 厂里从景德镇等地购入白瓷。(《人民日报海外版》, 2016)
 b. 厂里把白瓷从景德镇等地购入。
 (工場は景德镇などから白瓷を購入した。)
- (26) a. 人一旦吸入空气中漂浮的这种粉末就会被感染。(《科技文献》)
 b. 人一旦把空气中漂浮的这种粉末吸入, 就会被感染。
 (空气中に浮遊しているこの粉を吸入すると感染してしまう。)
- (27) a. 出口商(…中略…)扣除利息后立即收入现金。(《科技文献》)
 b. 扣除利息后出口商立即把现金收入。
 (輸出者は利息を差し引いた後、直ちに現金を受け取る。)

例(25)は図 4 のように「動作主体が白瓷を景德镇という空間へ移動させる」という意味を表している。このような場合、(25a)のような「从-空間内+SVO」構文にもなるし、(25b)のような「S 把 OV」という構文にもなる。例(26)の“吸入”、例(27)の“收入”も同様である。

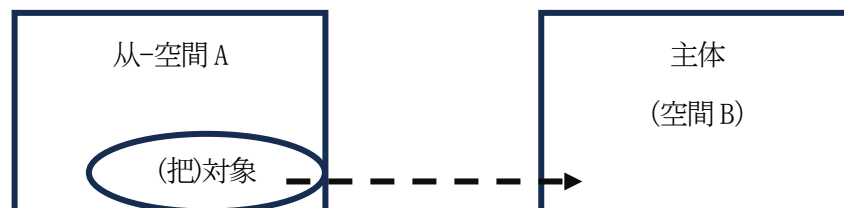


図 4 「从-空間内+SVO」および「S 把 OV」のイメージ

ここで注目したいのは、日本語の「②空間内ニ」に相当する中国語の“把”構文は、「S 把 OV+空間内」というように、動詞Vの後ろに場所名詞が来る。一方、日本語の「③空間カラ」に相当する中国語の“把”構文は、「S 把 OV」というように、動詞Vの後ろに場所名詞が来ない。後者の場合、例(28)のように動作主体と空間内を表す場所名詞が同一のものであるため、重複を避けるために場所名詞は省略されやすいと考えられる。

- (28) 厂里把白瓷从景德镇等地购入(厂里)。
(工場は景德镇などから白瓷を(工場に)購入した。)

5.3 主体・対象移動

次に、主体・対象移動について見る。この場合、“V 入”は自動詞用法にも他動詞用法にもなる。この類に属する中国語の“加入”“注入”などは例(28) (29)のように「主体移動」と「対象移動」の両方が使われるものである。

- (29)a. 她离开外交部，不久加入人民党。(《人民日报》，1988)(自)
(彼女は外務省を辞め、すぐに人民党に加入した。)
b1. 非法在食品中加入药物。(《人民日报》，1988)(他)
b2. 非法把药物加入食品中。
(違法に薬物を食品に加える。)
(30)a. 清澈的河水注入大海。(《人民日报》，1996)(自)
(綺麗な川が海に流入している。)
b1. 不少外企业也纷纷在房产市场上注入资金。(《科技文献》)(他)
b2. 不少外企把资金注入房地产市场。
(また、多くの外部企業が不動産市場に資金を投入している。)

例(29a)の“加入”は「彼女がある空間の内部へ移動する」という意味を表し、自動詞として使われているのに対し、例(29b)の“加入”は「ある人が薬物に働きかけて、薬物をある空間の内部へ移動させる」という意味を表し、他動詞として使われているという違いがある。例(30)の“注入”も同様である。

7. 終わりに

本研究は日本語の二字漢語動詞「V 入する」と同形中国語の“V 入”の自他性と構文を考察した。その結果、日本語の「V 入する」も中国語の“V 入”も「主体移動(自動詞)」「対象移動(他動詞)」「主体・対象移動(自他両用動詞)」の三つに分けられることを指摘し、それぞれの構文的特徴を見た。特に「対象移動」の場合、「②空間内ニ」と「③空間内カラ」とに分けられ、いずれも「主体が対象を空間 A から空間 B に移動させる」という意味を表す点では共通している。しかし、「②空間内ニ」の場合、動作主体(ガ格)は空間 A と空間 B とともに独立した存在であるのに対し、「③空間内カラ」の場合は、動作主体(ガ格)は空間 B と同一であるという違いがあることを指摘した。今後、さらに構文的特徴について考察するつもりである。

また、本稿では詳しく触れなかったが、今後は日本語の「V 入する」と中国語の“V 入”の主体や対象に来る語の違いについても考察していきたい。例えば、「進入する」と“进入”はいずれも「主体移動(自動詞)」を表す。しかし、例(31a)のように主体に意志性のある場合は日本語でも中国語でも使えるが、例(31b)のように主体に意志性のない場合は、中国語の“进入”は使えるが日本語の「進入する」は使えず、「入る」と言わなければならない。

(31)a. 敌军进入我军阵营。 / 敵が我々の陣地に進入した。

b. 农药进入人体。 / 農薬が人体に{*進入した/入る}。

また、「加入する」と“加入”は、例(32a)のように「保険」と共起する場合は日本語も中国語も使えるが、例(32b)のように「砂糖」と共起する場合は、中国語の“加入”は使えるが日本語の「加入する」は使えず、「入れる」と言わなければならない。

(32)a. 张三加入了保险。 / 張三さんが保険に加入した。

b. 李四把糖加入了咖啡里。 / 李四さんがコーヒーに砂糖を{*加入した/入れた}。

このように日本語の「V 入する」と中国語の“V 入”の主体や対象には違いが見られる。この点について今後調査、分析していきたい。

付記 本稿は名古屋大学に提出した筆者の修士論文(2022 年 3 月学位取得)の一部に加筆修正したものである。

[参考文献]

- 野村雅昭(2001)「<出入>を表す字音語基の造語機能」,『国文学研究』136, pp.160-171
羅非凡(2022)『日本語の VV 型二字漢語と同形中国語の対照研究』名古屋大学修士学位論文
呂叔湘(1980)『中国語用例辞典』牛島徳次監訳,菱沼透訳,東方書店

コーパス

- 現代日本語書き言葉均衡コーパス(中納言版) (<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>)
BCCWJ オンライン検索システム:<https://nlb.ninjal.ac.jp/>
Web データに基づくサ変動詞用例データベース(開発版) (<https://csd.ninjal.ac.jp/sahen/>)
荀恩东,饶高琦,肖晓悦,臧娇娇.大数据背景下 BCC 语料库的研制[J], 语料库语言学, 2016(1) (<http://bcc.blcu.edu.cn/>)

